

# 疥癬対策

## 平常時

### 予防 | 特に入所時

- 早期発見と早期治療が重要
- 手洗いの励行

#### 疑うべき症状と判断のポイント

- 皮膚のかゆみ（特に夜間にかゆみが強くなる）
- 皮膚の紅斑、丘疹、鱗屑
- 手の平や手指間に「疥癬トンネル」と呼ばれる線状の皮疹がある

## 感染疑い～発症

### 対応の方針

- 皮膚科への早期受診・早期治療を行う  
（疥癬の診断・治療経験がある皮膚科への受診が望ましい）
- 発症した入所者のケアの際には手袋、使い捨てのガウンを着用する
- 入浴ができる方はできるだけ毎日入浴し、皮膚の観察と清潔保持につとめる
- 接触した職員も皮膚の掻痒感、皮疹がでたら、至急皮膚科を受診する

#### 留意事項

- ・ 疑わしい場合、早期に受診すること
- ・ 医療機関で疥癬と診断がつかず、治療しても治らない場合は、疥癬の可能性について医療機関に確認することも必要
- ・ 疥癬の中でも重症の痂皮型疥癬の場合は、特に感染力が強いため隔離対応が必要

## 解除

### 解除の判断

- 全身を観察して新しい皮疹がないことが確認できれば、対応を解除する

## 疥癬対策 | チェックリスト

施設職員は、入所者について以下のポイントでチェックしましょう

### ○ 疥癬の感染者を早期発見・早期治療につなげるための チェックポイント

---

- 他の施設等から移ってこられる入所者の方は  
注意して観察する
  
- 入浴時や普段のケアの際に皮膚の状態を観察する  
(前腕、お腹等)  
赤い湿疹や赤い盛り上がりが見られます
  
- 利用者本人に体のかゆみの様子を聞く  
特に夜間の強いかゆみがないか、等  
疑わしい症状がないか聞いてみましょう
  
- 疥癬トンネルのような特徴的な症状がないか  
確認する
  
- 疑わしい症状が見られたら、  
皮膚科へできるだけ早く受診する  
初期の段階では正しい診断が得られない場合もあるため、  
疑わしい場合は、医療機関に疥癬の可能性を確認しましょう

